

よしかわ 議会だより

NO.158

平成25年8月1日



発行：吉川市議会

編集：吉川市議会広報委員会

〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1

TEL & FAX (982) 9421

http://www.city.yoshikawa.saitama.jp



関小学校プール、全面改修が終了（写真提供：関小学校 ※8ページに写真説明があります。）

新学校給食センター 建設へ向け用地取得

平成28年度の開設めざす

6月定例会の概要

6月定例会は、5月31日から6月14日までの15日間にわたり開催されました。

市長提出議案11件は、すべて原案のとおり承認・可決・同意し、請願1件を採択しました。また、議員提出議案は3件を上程し、2件を可決しました。3日間にわたり行われた「市政に対する一般質問」では、14人の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。

市長提出議案

新学校給食センター 用地決まる

市内2つの学校給食センターのうち、第1学校給食センター（大字川藤地内）は、昭和46年

今号の主な内容

- ① 新学校給食センター用地を取得
- ② 補正予算を可決・請願
- ③ 常任委員会の審査から
- ④ 答えて市長！一般質問
- ⑤ 審議結果・次回定例会の予定
- ⑥ 吉川市議会初！議員提案により条例制定
- ⑦
- ⑧

に開設され、現在、老朽化が進み、施設の維持・管理に苦慮しています。

今定例会では、新たな学校給食センターの建設用地として、7591平方メートルの土地を1億6088万4899円で取得することが決まりました。

新たな学校給食センターは、きよみ野地区北側の大字川藤・川野地内に建設されます。

住宅ローン控除の 延長、拡充等を実施

「地方税法の一部を改正する法律」の公布に伴い、条例の一部が改正されます。

【主な改正】
▼住宅借入金等特別税額控除（住宅ローン控除）の延長・拡充
住宅ローン控除の適用期限を4年間延長し、控除限度額を9万7500円から、

13万6500円に拡充します（平成27年1月1日施行）。

▼延滞金の割合の見直し
市税や介護保険料等の延滞金の率が引き下げられます（平成26年1月1日施行）。

市三役給料、職員給与 期限付きで減額へ

国が、7月から今年度末まで地方公務員の給与を引き下げ、よう要請していることを受け、市三役の給料と市職員の給与が7月から9カ月間減額されます。三役と職員の減額分は、9カ月間の合計で約7890万円となります。

市長提出議案

次ページへ続く





市長提出議案

前ページから続き

議員提出議案

請願

補正予算を可決

一般会計予算には、3562万4000円の補正予算が計上され、予算総額は、178億7562万4000円となりました。

また、国民健康保険特別会計補正予算には、2976万3000円が計上され、予算総額は、76億5066万1000円となっております。

一般会計補正予算 「こんなことに使われます」

国民健康保険特別会計

繰出事業

2976万3000円

平成24年度の固定資産税の課税誤りによる還付に伴い、過大徴収した国民健康保険税資産割の還付金として、国民健康保険特別会計に繰り出します。

障がい者日常生活支援事業

362万5000円

NPO法人なまずの里福祉会に障がい者グループホームの整備事業を委託します。



子ども・子育て支援のため

児童福祉審議会を設置

「子ども・子育て支援法」の施行に伴い、市町村は、特定教育・保育施設の定員設定や子ども・子育て支援事業計画等について意見を聴くため、審議会等を置くよう努めることとされました。

今後、市では、教育関係者や子育て経験者等から児童福祉審議会委員（8名）を委嘱し、ニーズ調査に基づいた教育・保育・子育て支援の計画を策定します。

意見書

今定例会では、3件を上程し、次の2件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。（二部抜粋）

成人の風疹予防接種に 国の助成を求める意見書

国立感染症研究所によると、風疹患者は6千人（5月20日現在）を超える事態になっている。その約9割は成人で、20〜40代男性が全体の約7割を占めており、子どもの頃に風疹の予防接種を受けていない事が指摘されている。

免疫を十分に持たない妊娠初期の女性が感染すると、生まれてくる赤ちゃんに白内障や難聴、心疾患、発育不全など「先天性風疹症候群（CRS）」と呼ばれる障害が生ずる可能性がある事から、今後出産を迎える世代を中心に全国で成人風疹の予防接種を求める声は切実である。妊婦への感染を防ぐために、各地方自治体で独自補助をする施策が広がっている。免疫のない人に予防接種を行い、感染拡大を広域的に抑制することが求められており、国として成人の風疹予防接種に助成することを求める。

福島第一原発廃炉へ本腰を入れた対策を求める意見書

福島第一原発の事故で、いまなお15万人を超える福島県民の皆さんが県内外で避難を余儀なくされている。

これに追い打ちをかけるかのように、使用済み核燃料プールの冷却システムの停電、貯水槽からの高濃度放射能汚染水の水漏れなどの事故が連続して起こっている。

福島第一原発の実態は、壊れた原子炉の冷却のために大量に発生し続ける高濃度汚染水をはじめ、放射能汚染とのたたかいが長期にわたって続く危機的な事態であり、今なお事故の真つた、た中の状況である。

今、第一原発廃炉へ向けた本腰を入れた対策が求められている。よって政府において、事故の原因究明と収束、廃炉を東電まかせではなく、日本の英知を総結集して一大事業としてやりぬくことを強く要望する。

意見書とは…

市民にとって重要なことが、国などの仕事のため、市では解決できない時があります。そのような時、国会や関係行政に議会の意見をまとめた文書（意見書）を提出する事ができます。意見書の提出は、地方自治法で定められた地方議会の権限の一つです。

保育所運営費に係る地域 区分の見直しを求める請願

今定例会では、1件の請願が提出され、審議の結果、採択となりました。請願の要旨は次のとおりです。

請願者 育暎保育園

理事長 酒井 暎彦

吉川団地保育園

理事長 大山山信彦

吉川つばさ保育園

理事長 会田 勝一

青葉保育園

理事長 戸張 精一

かほ保育園

石合 一賀

社会福祉法人コピートンシオ

理事長 小林 照男

松崎 誠

中嶋 通治

新学校給食センター 進捗状況報告会が 開催されました

6月27日

新学校給食センターの建設に向け、用地の取得が決まりましたが、進捗状況や開設に向けた今後のスケジュール等について教育委員会から説明を受けました。

新学校給食センターの施設整備や維持管理、運営はPFIにより進められることが検討されています。

PFIとは…

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金や経営能力、技術的能力を活用して行う手法です。



◆人権擁護委員
9月30日に任期満了となる山崎秀晃氏が再任されました。

人事案件

常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務水道常任委員会

◆国民健康保険税条例等の一部を改正する条例

条例改正の内容と影響は、市民税関係の改正内容の1点目は、延滞金の利息軽減であり、14・9%が9.3%になる。平成26年度では、約1900万円の延滞金見込みである。2点目が、住宅ローン控除である。所得税から住宅ローンが引ききれなかった場合、住民税から控除できる仕組みで、平成29年度までの入居者が対象となるよう適用期間が延長された。



◆一般会計補正予算
限度額は、現行9万7500円が13万6500円となる。控除額は、平成24年の入居者317名全員が限度額の住宅ローン控除を受けた場合、1200万円程度市の収入減となる。この減収分は全額国費で補てんされる。延滞金の支払い状況は、人数と延滞金は、平成22年度が1779人、約2400万円、平成23年度は1737人、約2500万円です。毎年さほど変わりはない。

賛成全員で可決
賛成全員で可決
賛成全員で可決

文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

保健衛生費について、医師会を除名処分になった医療機関分の予防接種の組み替えに関わるものだが、償還払いするときの手続きや方法は、予防接種の種類を記入した区域外申請書を提出、申し出のある医療機関に市から依頼書を発行。依頼書と母子手帳と予診票を持って受診、接種後に予診票と領収書を持って市に請求。指定口座に振り込む、という流れになる。

◆児童福祉審議会条例の一部を改正する条例

委員8名の選出方法は、民生委員・児童委員については団体に依頼し、組織の中から推薦してもらう。子育て経験者については、3歳未満の子の保護者、幼稚園に通っている子の保護者、小学校に通う子の保護者の計3名を予定。子育て支援団体や幼稚園のPTA等に依頼し、推薦してもらう予定。

◆保育所運営費に係る地域区分の見直しを求める請願

委員からの意見聴取
●民間保育園の定員は、吉川市

における総定員の8割に及んでおり、大変貢献をいただいている。地域区分について吉川市は「その他の地域」とされているが、近隣と比べても生活水準等の面で同一水準であることは明らか。故に現在の区分は合理性に欠ける。安定した保育士の確保の観点からも採択すべき。●合理性のある内容であり、採択したうえで、議会としても引き上げの努力をすべきと考える。



市内保育園の子どもたち

建設生活常任委員会

◆国民健康保険税条例等の一部を改正する条例

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

吉川美南駅周辺地域整備基礎調査等委託事業の債務負担行為

補正の詳細内容は、

環境影響評価業務と事業案作成業務を2年間に渡る業務として、当初計上したもののだが、このうち環境影響評価業務について、県より知事意見が出され、調査項目の追加が生じたため、1千万円増額したものである。新たに追加された項目は、

二酸化硫黄、炭化水素、悪臭調査、電波障害調査、窒素酸化物やPM2.5調査箇所数の追加などである。

当初債務負担を設定した時点で、事前に県と調整しているはずなのに、なぜ今回の補正となったのか。

事前協議はしているが、審議会委員の現地調査を行う手順の為、どうしても追加項目が出てきてしまう。

消費行政推進費は県の補助金

と補正額が同額だが、当初から見込まれていたのか。

県から追加募集の照会があり、これを受けて消耗品、備品購入の追加申請をしたものである。補助金の備品購入は適正か。啓発活動で活用するものとして対象になっている。

消費生活相談の最近の相談件数の推移と内容は、

平成21年度は113件、22年度139件、23年度203件、24年度174件であり、内容は多重債務や借金関係、商品に関する相談である。

放射線物質など食の安全に関する相談は、前年度、今年度とも相談はなかった。

賛成全員で可決

～市議会では3つの常任委員会に分かれ審査しています～
(◎=委員長、○=副委員長)

総務水道常任委員会

◎遠藤義法、○中村喜一、松崎誠、加藤克明、伊藤正勝、稲葉剛治、五十嵐恵千子（副議長）、松澤正（議長）

文教福祉常任委員会

◎安田真也、○高野昇、野口博、小林昭子、互金次郎、降旗聡

建設生活常任委員会

◎小野潔、○中嶋通治、山崎勝他、佐藤清治、稲垣茂行、齋藤詔治





答えて市長！

一般質問

今定例会では、14名の議員が市政全般にわたり、市の見解をいただきました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。
 会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は9月上旬となる予定です。

市指定医療機関からの

除外の真偽と原因は

中嶋 通治

問 昨年度まで保健事業に参加していた医療機関の幾つかが4月より外れているが、事の真偽と事実、原因は何故なのか。

答市長 この医療機関については、契約の相手方である吉川松伏医師会から除名され会員で無くなった為実施できなくなった。
問 保健カレンダーについて幾つかの医療機関が掲載されていないが、この原因は。

答市長 吉川松伏医師会、吉川歯科医師会、吉川薬剤師会に費用の全額を負担してもらい、作成しているが、契約の相手側である吉川松伏医師会の会員で無くなった為掲載できなくなった。
問 市民への影響と市の対応について、仮に保健事業を実施する医療機関が減少していれば、これまで、該当する医療機関で予防接種や検診等を受けていた市民はどの様にすればよいのか。
答市長 当該機関での希望があれば、償還払いにはなるが区域外申請で対応している。

問 個別委託契約を結ばばとの声があるが見解は。

答市長 市を統括する吉川松伏医師会の協力が必須である。個別契約を結ぶ事は、信頼関係を大きく損なう。場合によっては保健事業に留まらず、学校医や介護認定審査委員会等に影響が及ぶ事を懸念している。一日も早く関係を修復してもらいたい。



市保健カレンダー

地震などの災害に備え「被災者支援システム」導入を

互 金次郎

問 地震や台風などの災害発生時は、何よりも人命救助が最優先です。その後は迅速な被災者支援が求められます。

阪神・淡路大震災を経験した兵庫県西宮市が、被災者のために必要な支援策を集約し開発した「被災者支援システム」は迅速な行政サービスの提供に有効です。東日本大震災時にも威力を発揮しました。早期の導入を。
答市長 導入に向けて、当システムの環境整備と運用の検証を平成25年度中に実施します。

大人の風しん予防

接種費用へ公費負担を

五十嵐 恵千子

問 県内でも、20代〜40代の成人男性を中心に風しんが流行しています。問題は、免疫が不十分な妊娠初期の女性が感染すると、胎児がウイルスに感染し、難聴・心疾患・白内障などを主な症状とする赤ちゃんが生まれる可能性があることです。当市の予防と感染拡大を防止するためには、健康保険が適用となっていない高額な接種費用へ、早期に公費負担をすべきでは。

答市長 草加保健所から毎週報告される管内の発生动向調査を確認しながら早期の実施に向け、関係機関と協議をしていきます。

◆課題が山積の教育行政、新教育長の抱負は
問 教育の原点は子どもたちの幸福です。しかし教育現場では課題が山積しています。新教育長の抱負は。
答教育長 不登校児童には自己肯定感を育み、思い出や感動が共有できるよう工夫し解消を図ります。小学校英語の教科化などは、じっくりと確かな成果に結びつくよう前進します。いじめ、体罰問題は「いじめは卑怯者」「決して許さない、見逃さない、指導を流さない」との姿勢です。「子どもたちが学んでよかった」「教職員が勤務してよかった」「保護者が通わせてよかった」「地域の方々があつてよかった」と思える学校づくりを目指します。

答市長 他地域より若干高めで少子高齢化が推移します。農業に關係した施設や農家分家住宅も建設可能ですので、生まれ育った地域に定住し、子どもを産み育て、人口減少に歯止めをかけ、諸課題解決とバランスの良いまちづくりを進めて行きたい。小学校の複合的使用も必要であれば進めて行きたい。生活できる農業も積極的に支援します。

新庁舎建設基本設計、

実施設計に向けての提案

小野 潔

問 ①障がい者用駐車スペースを青色塗装へ。②多目的トイレ等に視覚障がい者用等に対応した音声機能設置を。③大規模災害時、上下水道インフラ停止を見込んで、上水道確保の為に「地下水利用システム」の導入を。④電気自動車の充電スタンドの設置を。⑤旧庁舎跡地を「売却」だけではなく貸付、有効活用を含めた幅広い考え方を。また保健センター2Fに視覚障がい者等の専用ルーム設置を。⑥吉川市のシンボリックな景観を持たせるコンセプトを。

答総務部長 ①青色塗装は不適正利用の抑止効果がある為、実施していく。②音声案内機能は設計段階で有効性を含め検証する。③「地下水利用システム」は設計段階で導入の有効性について検証する。④電気自動車充

電スタンドは整備していく。⑤後年度の財政負担を考え、基本「売却」とする。⑥防災拠点を基にして周辺の景観と調和した計画を基本として検討する。



◆太陽光発電に係る公共施設の屋根貸し事業の導入を

問 埼玉県では「埼玉エコタウンプロジェクト」として太陽光発電の屋根貸し事業の普及拡大に努めている。当市でも公共施設等の屋根貸し事業の検討をしては。
答市長 小中学校を中心に公共施設の屋根貸し事業導入を検討していく。

健康づくり活動団体は

社協の助成活用を

降旗 聡

問 ここ数年、介護予防・健康維持に対する市民の意識は高まっています。市では「なまらん体操」の普及に努め、多くの自治会・町会で取り組まれています。一方、公園などで自主的にラジオ体操に取り組む方々も多く見受けられます。そこで、①健康づくり自主活動団体への助成について、②公園等への健康遊具設置について、市の見解は。

答市長 高齢者が増加する中、健康づくりを目的とする地域での自主活動が活発になることは大変喜ばしいと考えます。平成23年度から「健康づくりリーダー育成講習会」を実施していますが、新たな応募者が少なくなってきました。今後は、多くの地域で取り組んでもらえるよう、機会を捉えて各自治会に



地域で取り組まれる「なまらん体操」

出向き、個別に説明するなど、更なる周知を図っていきます。

なお、社会福祉協議会では、「いきいきふれあいサロン助成金」を交付しています。健康づくり自主活動団体で、会場使用料など費用がかかる際には、活用できると考えています。

答都市建設部長 ②中曽根公園、美南中央公園、美南3丁目公園、吉川中央緑地に設置しています。今のところ新設する予定はありませんが、遊具撤去や新たな公園整備の時は、地域の意見などを踏まえて検討します。

農業政策としてブランド化や

6次産業化が必要では

中村 喜一

問 埼玉型圃場整備事業の進捗。
答市長 吉屋地区の圃場整備事業で、協議会が設立され事業推進の合意形成を図っている。

問 農業チャレンジ吉川塾は。
答市長 2人の塾生が市内の農家で研修を実施しており、研修後は独立営農に向け支援したい。
問 吉川産農産物のブランド化。
答市長 付加価値の高い農産物をブランド農産物として消費者にPRをしてきた。また6次産業化として加工品も販売中。

◆三輪野江地域に民間活力を

問 土地利用変更の動きがあるが、市は把握しているか。
答市長 民間事業者が、市街化調整区域である三輪野江地域に

開発意向があると聞いている。
問 虫食いの開発の危惧があるが、秩序ある開発を誘導するため関連法令の整備を行うべき。

答市長 市街化調整区域であるため都市計画法上の地区計画や区域指定等の手法は考えられる。
問 行政目的に沿った民間活力は活用すべきと思うが。

答市長 民間企業による開発は地域の雇用創出や税収確保の観点から重要な施策だが、市全体におけるバランスと計画的な整備が前提であり、市の計画や地域の意向と民間事業者の意向が合致するのであれば、民間活力の活用を検討したい。

市民の健康を守り、

子育てしやすい街に

遠藤 義法

問 母子・成人保健事業、子育て支援事業について市の取り組みの特徴と課題は何か。解決策とその事業計画等は。吉川松伏医師会から2医療機関が除名になり、定期予防接種などに影響が出ているが市の対策は。

答市長 成人保健事業は、健康診査やガン検査を実施しているが受診率が低いことが課題であり、地域に出向き、健診の必要性を伝え、受診率向上に取り組んでいく。子育て支援は、子育てと仕事が両立できる環境整備など9つの課題がある。積極的に取り組んでいく。平成24年に2医療機関が除名され、市の指

定医療機関を外れたため定期予防接種が受けられないが、区域外接種で対応している。5月末で43件申請がある。事業が円滑に行われるよう吉川松伏医師会と連携して対応していく。

◆道路、歩道整備を計画的に

問 新庁舎建設が平成28年度中の竣工を目指してすすめられており、この年度に合わせて道路、歩道の再点検とバリアフリー化整備をすすめるべきである。

答都市建設部長 きよみ野内の関谷野谷線は、経年劣化で傷みも激しいことから、3ブロックに分けて全線舗装し直す計画である。歩道は再度点検を行い、段差解消を図っていく。

非婚の母に「寡婦控除」の

見なし適用を

高野 昇

問 婚姻歴がなく子どもを出産した女性（非婚の母）には、死別や離別によってシングルマザーになった女性に適用される寡婦控除（所得控除）が適用されず、税金、保育料等で年間30万円以上も負担が重くなっている方がいる。同じ母子世帯でありながら婚姻歴があるか否かだけで差別を受けるのは不合理だと、日弁連が寡婦控除の見なし適用を求める要望書を提出している。寡婦控除を見なし

適用し、保育料等を軽減している自治体もある。市でも実施を。
答市長 寡婦控除の見なし適用は、子どもの生活環境向上という視点とは異なり、寡婦の経済基盤に着目した制度と理解しており、算定において見なし適用を実施する考えはない。

◆優良農地保全へ、非農家の農業参加への更なる支援を

問 優良農地を耕作放棄地とせず保全してゆくためには、現に農業を営んでいる農業者への支援とともに、非農家の農業への参加をさらに支援してゆく取り組みが必要ではないか。

答市長 農家の高齢化や後継者不足が懸念されており、農地の集積化や農業チャレンジ塾に取り組んでいる。今後も農業者以外の方への優良農地保全の取り組みをお願いしていく。



生活保護法改正問題に

市はどう対応するのか

佐藤 清治

問 衆議院で可決された法案は

行政に助けを求めて来た人達を窓口で追い返す仕組みを初めて条文化する重大な内容である。また、親族による扶養義務の強化を明記したことも受給者を排除する狙いがある。こうした点について市は今までも同様で問題はないという認識か。

答健康福祉部長 具体的な影響については把握できていない。書類問題については国会でも議論され、変更が加えられている。

このへんが根拠になると思う扶養義務の関係についても国会の答弁を確認している限り、これまでより強化されているのではないかと思う。

問 民主党の対案は「特別の事情」がある場合はこの限りではないとしているが「特別の事情」は、だれが判断するのか。
答健康福祉部長 明記されていないが、現場としては福祉事務所だと思っている。

問 福祉事務所が判断するということだから申請が拒否されるという危険な状況になるという不安をぬぐいさることはできないのか。

答健康福祉部長 今回の改正案については、必要な人には確実に保護を実現する基本的な考え方は維持している。

答えて市長！一般質問

次ページへ続く

答えて市長！一般質問

前ページから続き

吉川美南駅周辺地域都市計画
決定事業手法を民間活力で

齋藤 詔治

問 吉川市は土地所有者の合意無く、事業者名を吉川市として土地区画整理事業を決定し、土地利用計画を作成、事業規模・工事期間（平成28～42年度予定）等、進めています。また、ちづくりは、所有者の納得が得られ、合意形成なくしては出来ない。許認可を含め、事業期間は平成42年度終了予定です。（今までの市内区画整理は予定より数年間遅延）長期間に渡る区画整理事業は実施すべきではありません。行財政改革を進めている今日、今なぜ、市施行で区画整理事業を実施するのか。

市民の税金で行う公共施行の区画整理事業の手法ではなく、早急に地権者への意向調査・説明会を行い、事業主体・土地利用計画を再検討し、組合施行、民間企業による業務代行等、民間活力の導入を図り、数年間で終了する手法で実施すべき。
答市長 本事業は駅前の地域で公共性が高い、市街化区域編入へ国・県との調整を進めている。事業の確実性や担保性を強く求められ、信頼性の高い公共施行で実施。事業資金は、事業の短縮化や保留地の早期売却、国・県の補助金の有効活用を図る。



吉川美南駅東側地域の今後は...

地元の合意形成は、平成16年に意向調査を行い約8割の賛同を得ている。今後、説明会の開催や意向調査を進めて行く。

成人風疹予防接種へ

市の助成を

小林 昭子

問 県内では37自治体に助成が広がっている。当市は。
答市長 早期実施に向け関係機関と調整致します。

市内調整地域。市民の声

問 資材置き場設置条例を。
答市民生活部長 今後、規制は必要。他市の状況等研究します。
問 新きぼり改修時に歩道設置を。
答市民生活部長 余剰部分は4〜5メートルで、歩・車道分離で設置するのは困難です。
問 高齢者の買い物困難地域支援。

問

健康福祉部長 第3期高齢者福祉計画に向け、高齢者の移動実態を調査研究します。移動販売車については、近隣、他県の先進事例を調査、研究します。
問 公民館に児童館機能を。
答健康福祉部長 スポットのな実施が可能か検討します。
問 土場、コビープリスクール周辺の生活道路改修を。
答都市建設部長 水道課と協議し本復旧時に本舗装します。
問 半割93512地先の舗装を。
答都市建設部長 交通量、安全性等鑑み順次舗装します。
問 中島1-389地先水路改修を。
答市民生活部長 地元自治会と協議、調整していきます。

◆小規模特養建設の見通しは
答健康福祉部長 1件参入の相談があり、対応しています。

市指定医療機関が減った事
による市民の方への影響は

稲葉 剛治

問 4月より市指定医療機関から外れた医療機関で従来の方法による市民の方への影響、またどのような声が届いているか。
答市長 今まで予防接種を受け

てきた医療機関で接種が出来なくなってしまうのは困る、このご意見が寄せられている。

問 市民の方の意見に対する市の返答と、市の返答に対する市民の反応は。
答健康福祉部長 原則として市指定医療機関以外の接種は出来ないが、当該医療機関での接種を希望する場合には、あらかじめ区域外接種の申請をして頂ければ、償還払いの方法になるが、接種する事が出来ると回答し、市民の方からは、手続きが面倒、いったん料金を立て替えるのが大変、償還払いの手続きについて一定の理解を示す声などさまざま意見が寄せられている。

問 市指定医療機関から外れた機関と個別契約をすれば償還払いの手続きに関連する親子の負担を改善できるのでは。
答健康福祉部長 吉川松伏医師会との信頼関係を大きく損なうばかりか、場合によっては医師会にご協力を頂いている様々な事業についても影響が及ぶ事が懸念され、そのようなリスクを避けなければならぬので個別契約する考えはない。

交通安全対策について

加藤 克明

問 通学路危険箇所、解消済み、未解消箇所と、未解消の理由。
答教育部長 昨年度末で43箇所が改修、対応済み。未解消68箇所

所については、管理者がそれぞれ異なるなどの理由がある。今年度も安全点検票を基に、再点検を全小中学校へ指示、新たな危険箇所の洗い出しを実施。

問 道路標識等の老朽化事故対策に、市のホームページ活用を。
答都市建設部長 職員や緊急雇用創出基金補助事業を活用した道路公園安全安心パトロールで毎週2回、道路や標識など状況に注意し、巡回を実施。またホームページの活用については、今後、内容等を掲載する方向で検討する。

問 生活道路安全対策「ゾーン30」等、特殊標識・特殊標識試験の導入を。
答市民生活部長 路面標示を工夫し、道路上に立体的な凹凸があるかのように見せ、車両の減速を促す特殊表示「ソリッドシート」を平成8年大阪府警が考案。路面を盛り上げるハンブ設置方法よりも作業が簡単で、費用が安いことから、大阪府内に導入。当市では前例はなく、今後、導入自治体の設置、効果を参考に、当市で行っている路面標示と合わせ、交通事故防止対策に効果が得られる手法を検討していく。

問 市指定医療機関からの抹消問題の解決を！
稲垣 茂行

問 4月より、産婦人科と内科の2つのクリニックが、市の指

定医療機関から除外された。なぜこの様な事態となったのか。
答市長 当市の保健事業は、対象となる多くの市民が受診できる体制が重要と考え、吉川松伏医師会・歯科医師会・薬剤師会との間で契約し実施している。

平成24年9月、両医師が医師会から「除名」され、会員資格を失ったことから、当市の予防接種や保健事業を実施していただけなくなった。

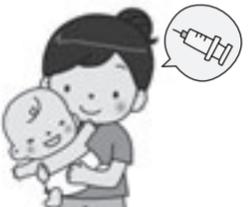
問 市民への影響と反応は。
答市長 影響は、定期予防接種、子宮がん検診、妊婦健診の3事業だと考えている。

5月未までに、電話による苦情が38件・窓口7件・市民の声に10件が寄せられている。

問 市はなぜ、予防接種事業の継続を希望している両医師と『個別契約』を結ばないのか。
答市長 保健事業として、各種予防接種や検診・検査を実施しているが、これらを円滑・確実に行うためには多くの医療機関と関係者の協力が必要で、医師会の協力が必須と考える。

個別契約を結ぶことは、医師会との信頼関係を損なうばかりか、学校医・介護認定審査委員会等への影響が懸念される。

市政全般を預かる立場として、リスクは避けなければならない。





6月定例会 審議結果

《市長提出議案》

○=賛成、×=反対、欠=欠席、議=議長（議決には加わりません）、◎=議案提出者

議案名	議決結果	自民・みらい							共産			公明		改革		無所属						
		加藤 克明	中村 喜一	安田 真也	中嶋 通治	松崎 誠	山崎 勝他	野口 博	松澤 正	佐藤 清治	高野 昇	遠藤 義法	小林 昭子	互 金次郎	五十嵐 恵千子	小野 潔	稲垣 茂行	伊藤 正勝	稲葉 剛治	降旗 聡	齋藤 詔治	
専決処分事項の承認について（吉川市税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認について（吉川市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認について（吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市児童福祉審議会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度吉川市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市職員の給与の特例に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市長等の給料の特例に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

《議員提出議案》

成人の風疹予防接種に国の助成を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島第一原発廃炉へ本腰を入れた対策を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
憲法第 96 条の発議要件緩和に反対する意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	◎	○	×	×	×	○	○	×	○	×	

《請願》

保育所運営費に係る地域区分の見直しを求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

* 会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、「改革」は「市民改革クラブ」の略です。

～議会を傍聴しませんか～ 次回定例会の予定

9月24日（火）	9月20日（金）	9月19日（木）	9月18日（水）	9月13日（金）	9月12日（木）	9月11日（水）	9月10日（火）	9月9日（月）	9月5日（木）	9月4日（水）	9月2日（月）
本会議	本会議	本会議	本会議	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	本会議	本会議	本会議
【一般質問・閉会日】	【一般質問】	【一般質問】	【一般質問】	【委員報告】	【請願審査】	【建設生活】	【建設生活】	【総務水道・文教福祉】	【議案審査】	【議案審査】	【開会日・議案上程】

◆お詫びと訂正◆

5月1日発行の議会だより第157号に掲載した齋藤詔治議員の一般質問の原稿（6ページ）に印刷の誤りがありました。今後、このようなことのないよう心掛けるとともに、お詫びし、次の通り再掲載いたします。

市所有地教職員住宅跡地売却1円でも高く売る努力を

齋藤 詔治

のはPR不足ではと考えるが、
市長 法手続きに乗っ取り、
適正に処理したと思っている。

◆全ての市内公共施設の老朽化の現状と安心安全対応策

（問）市内の橋梁の現状、幼稚園・保育園・公民館・老人センター等各種スポーツ施設の状況は。

（答）総務部長 計画的な修繕や保守点検による不具合の早期発見、また、整備費等への補助金の活用により、適正な維持管理に努める。

◆国が実施する地域の元氣臨時交付金、当市への導入は

（問）臨時交付金1兆4千億円が予算化された、市の活用事業は。

（答）総務部長 市単独生活道路・農業用排水路・ポンプ交換等。

（問）吉川市栄町一五〇番、宅地、1254・25平方メートルは、7381万円で市内の電気工業（株）に売却された。市民より、大変安く売られた、処分地内に公売案内の立て看板やチラシ広告も無く売渡されたとの声。どのような処分手法で行われたのか。

（答）総務部長 市の広報紙や市のホームページに掲載。計3回募集、1回目一般競争入札、2回目価格公表での一般競争入札。3回目価格公表し、先着順にて決定、随意契約により売却した。入札による応札がなかった。



吉川市議会 初！ 議員提案 による

吉川市歯科口腔保健の 推進に関する条例制定！

(平成25年4月1日施行)

吉川市議会では、市民の生涯にわたる口腔健康保持の推進のため、「吉川市歯科口腔保健の推進に関する条例」を議員提案により制定しました。
議員提案による条例制定は近隣自治体でも珍しく、この度の条例制定に際しては、会派を越え、全議員20名の参加をもって議員連盟を設立しました。
そして、この議員連盟において、勉強会や検討会を何度も重ね、全会一致で条例を制定することができました。

条例のあらまし

- 市民が生涯にわたり、歯科口腔保健に関する取り組みを日常的、積極的に行うことを求めています。
 - 市民が生涯にわたり、良質かつ適切な歯科医療サービスを受けることができるよう環境の整備を求めています。
 - 市民、行政、歯科医療等業務従事者、事業者の役割を明記しました。
- ※条例は市ホームページでご覧いただけます。



市民の役割

- 知識と理解を深める
- 日常生活における口腔清掃の実践
- 定期的な検診を心掛ける

市の責務

- 歯科口腔保健の推進に関する施策の策定・実施
- 8024運動等※の計画的実施
- 必要な財政上の措置

三者が協力

関係者の役割

- 関係者の仕事の内容に応じて役割を定める

※80歳になっても自分の歯を24本以上保つことを目的とした取り組みや、平成24年度厚生労働省告示第438号に定める基本的な施策

Q 議員提案による条例とは？

A 通常、市長から提出されるケースが多い条例案を、議員自らが政策立案し提出するもの。こうした議員提案条例は、近年の議会改革の流れの中で、増えてきています。

Q 議員連盟とは？

A 党派会派を越え、同じ目的を持った議員の集まりです。

歯科口腔保健推進議員連盟役員

- 会長 松崎 誠 (自民・みらい)
- 副会長 互 金次郎 (公明党吉川市議団)
- 幹事長 安田 真也 (自民・みらい)
- 幹事 中嶋 通治 (自民・みらい)
- 幹事 加藤 克明 (自民・みらい)
- 幹事 遠藤 義法 (日本共産党吉川市議員団)
- 幹事 小野 潔 (公明党吉川市議団)
- 幹事 稲垣 茂行 (市民改革クラブ)
- 幹事 稲葉 剛治 (無所属)

結びに、条例制定にご協力をいただきました埼玉県歯科医師会、吉川市歯科医師会、吉川市健康福祉部の皆さまに感謝申し上げます。

表紙の写真

この夏、関小学校のプールが全面改修されました。これまで、低学年用の水深の浅いコースは設置されていませんでしたが、今回の改修により、高学年用コースの他、低学年児童に配慮したコースが整備されました。



新しくなったプールに、元気な子どもたちの声が響きます。

ご意見・ご感想をお寄せください

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお待ちしています。

〒342-8501
吉川市吉川二丁目1番地1
吉川市役所 議会事務局
FAX (982) 9421

編集後記

万物を潤し育てる6月の慈雨、庭のゴーヤの苗もつるを伸ばし順調に成長しています。さて、スポーツやゲームを行うにしても一定のルールがあり、マナーが強く要求されます。ましてや神聖な議場での議員の言動は、法規によって規制されるまでもなく、自らを律し、発言や態度には十分注意を払い、議会の使命と議員の職責を全うしなければならぬと強く思った今定例議会でした。
前回から、タブロイド版での「議会だより」になりましたが、読みやすさは如何でしょうか？皆様からのご意見・ご感想が慈雨となつて、さらに読みやすい「議会だより」に成長します。多くの声をお待ちしています。

五十嵐 恵千子